

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 鈴木電設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・毎年経営計画を手帳形式で作成し、従業員に交付、周知を図っている。 ・年に一度全従業員を対象に経営計画発表会を行っている。									8	9										17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令を遵守するための指針として、経営計画書中に会社の方針、態度を示しておりこれを周知している。																				16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争とならないよう、経営計画書中に競合他社との関係性について規定しこれを周知している。																				16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・【予定】2022年5月までに、社会・環境への会社の指針を作成し、担当や専門部署などの体制を整備する。																				16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年5月までに、自社、他者を含めて知的財産の重要性について、従業員に研修等にて周知を図り、知的財産の重要性、保護の必要性について周知を図る。									8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・経営計画書中に、情報管理の在り方に関する指針を示しており、これを従業員に周知している。 ・自社ホームページにてプライバシーポリシーを公表している。																				16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客へのアフターフォローを充実させ、アンケートを収集することにより、業務上の改善点の洗い出しを行っている。 ・代表取締役が一般社団法人熊本みらいエネルギーの理事となっており、エネルギー問題へのステークホルダーを含めた対応を推進している。																				16 17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・事業パートナーとの間で一般社団法人熊本みらいエネルギー協会を立上げ、エネルギー環境に対する適切な対応についての認識、情報を共有し、取り組んでいる。					5					8		10				12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】中小企業庁のBCP認定申請をすでに行っており、今年中には認定される見通しである。											9						11		13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の育成、教育のために、経営者とともに研修に出向くなどを積極的に行っている。										8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8							12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメント禁止について就業規則に定めている。 ・社内評価基準として、性別、年齢などで差別なく能力面での評価を示している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8											16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・経営計画書中に、運転に関する方針、工事に関する方針を定め、事故が起きないよう指導し、起きた場合の対処も規定している。事故発生時には即座に共有できるようにネットワークを構築している。			3						8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・社員やアルバイトなどの雇用形態に関わらず同一労働同一賃金の原則は遵守している。					5.5					8.5										10.2 10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・経営計画書中に不必要な残業を減らすよう推奨しており、残業する場合には決裁を要する体制をとっている。 ・慶弔見舞金の支給制度を採用している。			3			5.5				8.5 8.8											10.3	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修の受講、各種資格の取得を奨励し、資格手当を採用している。 ・スキルに応じた研修や会議を定期的に行っている。					4	5.5				8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断を会社の経費支出にて行っている。 ・除菌脱臭装置の設置によりウイルス対策を行っている。 ・経営計画書中、禁煙化達成に対して費用の支出を行っている。			3							8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・昇進・昇格等に人種、性別などの差異は設けていない。 ・役員、管理職に女性を登用している。 ・【予定】2022年5月までに、外国人を雇用するための社内体制を整える。				4.4	5.1 5.5					8.5												16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議の積極的導入や会議の時間を設定し定期的に換気を徹底している。 ・アクリル板の設置を行っており、従業員にはマスクの利用を徹底している。			3							8	9.1					11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・各社員にパソコンを配置し、広報やカタログ等について電子化を推進している(ホームページブログの更新を頻繁に行っている。)										8	9.1					11	12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 鈴木電設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12								















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 鈴木電設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・業務上排出され得る廃棄物の性質や処理方法など従業員に共有している。 ・社内でごみの削減を周知し産廃処理事業者への委託もを行っている。 ・産業廃棄物処理費用を売上の1%程度確保している。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車は、一部EV車を使用しており、太陽光パネルの設置を行い、LEDの使用を推進している。 ・【予定】2022年5月までに、簡易計算シート等を基礎としたエネルギー使用量の管理を徹底する。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車を一部EV車としており、CO2排出抑制に取り組んでいる。 ・【予定】2022年5月までに、簡易計算シート等を基礎としたCO2排出量の管理を徹底する。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動内で出たごみ等廃棄物については、自社内で清掃、処理を行い、環境に排出されないよう取り組んでいる。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化に資するため、データ利用(パソコン内で完結する処理)を推進している。 ・【予定】2022年5月までに自社内での紙利用のおおよその使用量を算出し、削減対象とする。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年5月までに、事業所内水道設備に、節水器具を取り付ける。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・【予定】2022年5月までに社内に必要な備品等について、グリーン購入の理解を進め、これを推進していく。 ・太陽光パネルの仕入に際してより環境負荷の少ない商品の選択を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルや蓄電池を設置し、事業所の節電に取り組んでいる。 ・自社内での使用電力量以上の太陽光発電を行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・社用車は一部EV車を利用しており、今後も社用車の入れ替え時にはEV車を優先して購入する。									9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																											
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・アンケート、ヒアリングにより顧客の意見を取り入れ、顧客が継続的に利用可能な製品、工事、サービスを行い、アフターフォローに力を入れている。 ・顧客、従業員の安全性を図るために、社内安全指針を定め、これを共有している。			3.9						9		12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特設せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・製品、サービスについて、誰もが利用できるような十分な説明と理解を求めるための周知を図っている。 ・移動が困難な顧客に対しては、訪問することで消費難民を減らす取り組みを行っている。									9.1	10	11.7										17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●									2.3 2.4			7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●												7					12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・環境負荷が少なく災害に強い製品、サービス(太陽光、蓄電池、オール電化製品)の普及のための啓発を行っている。 ・一般社団法人熊本みらいエネルギー協会を設立し、現在NPO法人くまもと温暖化対策センターとZEH、蓄電池、省エネ家電普及促進協議会の参加を調整している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●										2.3 2.4				8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・HPにおいて、防災のための蓄電池の有用性、必要性について広報を行っている。 ・地域の防災活動(消防団)に参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・HPなどで災害時の注意点を公表している。 ・天草市に対して蓄電池等の寄付提供を行ったことがあり、今後も自治体等への寄付を継続していく。 ・蓄電設備を設けており、非常時の電源として地域住民に利用可能な体制をとっている。				4										11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		・自社地域消防団(今吉野)の活動に参加している。	1.5		3	4										10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●		・災害時のための蓄電池の普及を促進し、顧客や従業員に対して防災意識を高める広報を行っている。													9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・顧客や従業員、取引先に対し、SDGsの普及啓発(自社ホームページ上にもSDGsの言及がある。)を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		・天草工業高校に、毎年自社関連事業の授業を行っている。				4							8.6			10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4							8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●						4.3 4.4 4.5							8.6			10.2		12	13	14	15		17